

一般質問

氏名	質問の要旨
中村 武彦	1 マスタープランの策定と審議会のあり方について
古賀 龍彦	1 交通事故多発地の安全対策について
神野 恒彦	1 口蹄疫の予防、感染対策について 2 木工産業の維持、促進の施策について
岡 秀昭	1 地元経済対策としての建設工事や業務委託の発注について 2 通学路の歩道整備について 3 県道水田大川線へのバイパス整備について
中村 博満	1 市道郷原一ツ木線について 2 木室ふれあい広場の活用について 3 狭隘道路の拡幅について
平木 一朗	1 少子化対策について 2 安心して暮らせるまちづくりについて
石橋 忠敏	1 市民参加の行政評価制度導入について 2 大川市の水道管耐震化問題について 3 リサイクルプラザ用地の有効活用について 4 市長と議員との面談のあり方について
川野栄美子	1 環境ビオトープ（生きものの場所）について
箴島かおる	1 堤上野線及び小保酒見線の道路改修事業の進捗状況について 2 幼稚園の運営について
福永 寛	1 都市計画道路堤上野線の進捗状況について 2 大川市公共賃貸住宅の空部屋対策などについて



マスタープランの策定と
審議会のあり方について

中村 武彦 議員

問Ⅱ総合計画審議会については、従来のように執行部が原案を提示し審議するというやり方を改めて、原案作成の段階から市民が参画するなど、より住民に開かれた審議会にしていくべきである。

長期総合計画は今後10年間に渡っての大川市の経営計画というべきものであるので市民の意見をベースにして作り上げていくものであると思うが、市長の考えを伺いたい。

答Ⅱ長期総合計画の策定にあたっては、市民アンケートやワークショップ等を実施することにより、これまで以上に様々な市民の意向を把握しながら、基本構想、基本計画としての案を作成し、策定に向けた作業を進めてきたところである。

長期総合計画案の審議組織として、市議会及び公募委員を含め各団体などから推薦を受けた市民20名で構成された総合計画審議会に對して計画案の諮問を行い、9回に及んだ審議の過程においては様々な議論がなされ、そのことよって市民の意見がより反映されたものとなり、さらに計画書の内容も深化したものになったと考えている。



交通事故多発地の
安全対策について

古賀 龍彦 議員

問Ⅱ（１）交通事故多発交差点において、信号機未設置箇所にはどのような安全対策を実施しているのか、また、

（２）信号機設置を県に要望する場合は市が申請を行うよう窓口を一本化したほうが良いと考えるが、伺いたい。

答Ⅱ（１）市内で信号機の設置を警察に要望している信号機未設置交差点は現在四箇所であるが、その安全対策としては、①交差点の形状を改良する交差点改良工事、②交差点注意喚起を促すカラー舗装等、③減速を促すため立体的に見える路面表示塗装、を実施している。

事故多発地の九網町の交差点については、警察と信号機の設置に向けて協議を進めているが、設置時期は早くても平成23年度以降になる。この交差点については、その他の安全対策として、山形の突起物が浮き出ている立体路面表示を市道側に2箇所発注している。（２）信号機設置の申請については、市が地元の要望を受け、県に申請した方が実現しやすいという面があるので、協議も含めそのように進めていきたい。